

第 1 回東郷地域協議会会議録(要約)

日 時 令和 4 年 4 月 25 日(月)PM7:00～PM9:00
場 所 新城市役所 4 階 会議室
出席者 委員 26 名 事務局 5 名

次第

- 1 あいさつ
- 2 委嘱辞令交付式
- 3 議事
 - (1) 副会長の選任について
 - (2) 地域協議会推進体制について
 - (3) 地域協議会年間開催スケジュールについて
 - (4) 今後の会議開催形式について
- 4 連絡事項
 - (1) 令和 4 年度地域自治区予算事業について
 - (2) 令和 4 年度地域活動交付金について
 - (3) 市長が行く！ふれあいトークについて

1 あいさつ

- ・職員あいさつ
- ・委員自己紹介

2 委嘱辞令交付式

- ・9 名の委員に委嘱辞令を交付した。

3 議事

協議会の会議録署名

会議録の署名人については、会長及びその他委員 2 名の合計 3 名とし、その他委員は委員名簿の上から順に 2 名ずつ行っていくことを決定した。

(1) 副会長の選任について

結 果

- ・委員の推薦により、「今泉真理子委員」が副会長に決定され、昨年度に引き続き任期中の赤川哲久委員とあわせて副会長の人数は 2 人となった。
- ・副会長の優先順位については、順位 1 に赤川副会長、順位 2 に今泉副会長となった。

(2) 地域協議会推進体制について

(事務局説明)

- ・昨年度地域協議会からの引き継ぎ事項
- ・令和4年度地域協議会推進体制

(主な意見)

- 委員 地域活動交付金分科会の委員は昨年度は7名だった。そのうち、1名が審査会に参加できないことになった。少数精鋭でいいんじゃないかということで7名になったけれども、人数が少なすぎるので、もう少し増やしていただくと、もっと広い目で見えていただけるようになる。各柱から1名か2名、もしくはちょっと参加してみたいという方など、もう少し幅を広げて参加していただきたいと思うがどうか。
- 委員 昨年度からの引き継ぎ事項にある地域活動交付金からの自立について、検討する機会が年間スケジュールには入っていない。地域活動交付金の継続申請は5年間までだという認識がある。そこをもう一度きちんと議論をする機会を年間行事予定に入れ込んで欲しい。また、地域活動交付金分科会構成委員数の意見については、先ほど言われた意見で私は正しいと思う。さすがに副会長含めて7名では少ないと思う。もっと前はもう少し多かった。10名くらいは必要ではないか。
- 会長 そうすると1つの柱からは2名ずつぐらい出すということが妥当かもしれない。
- 委員 今年も新人さんがいるため、まだわからない方も多くいらっしゃる。事務局から交付金分科会委員の人数の推移だったりとか、運営していく上で妥当だったのかなど、これまでの経過を1度お話いただけないと、こちらも判断のしようがないと思うがいかがか。
- 事務局 3、4年くらい前までは地域活動交付金分科会と地域自治区予算分科会があり、大体委員の半分ずつくらいの割合で分かれていたので、15～16人いた。地域計画ができたことによって、そちらの方に力を入れていくという方針となり、地域活動交付金分科会は縮小され、その分、地域計画の方に人数を回していったという推移がある。分科会の人数に関しては、昨年度確かに少なく、審査会に欠席された方もいて、さらにトリム採点方式で最高点及び最低点から1人ずつ抜くこととなっているので、実質4人で審査することになってしまった。このような昨年度の状況を踏まえると各柱から1人出すだけでは少ないと感じた。先ほど委員の方が言われたように10名くらいいけば、欠席等があっても十分やっていけるのではないかと思う。
- 会長 昔は地域活動交付金分科会と地域計画推進分科会と2つに分かれていたが、意見をもっと吸い上げたほうがいいということで、全員の中からブロックの代表として計5人を選んで地域活動交付金分科会にしたわけだが、トリム方式ということで、上の点数と下の点数を切り捨ててしまうので、3～4人で決めてしまうことになるので、それちょっとまずいということで、もうちょっと増やしたいということになった。他にご意見がなければ、例えば各柱の中から2人ずつ出してもらおうことになると思うがその辺でどうか。ご足労けれどもプラスで3回くらい余分に会議があるが参加していただくとありがたい。

委員 今日この人数は決めないといけないものか。審査までまだ時間があるので、新しい委員の方たちが分からないうちに決をとるのもどうかと思う。

会長 審査会は来年の2月でやるので、まだまだ十分時間がある。今出た意見も確かにその通り。もうちょっと慣れてから議論した方がいいかもしれない。それでは、地域活動交付金分科会の人選は保留にすることにします。

結 果

- ・令和4年度地域協議会推進体制が原案のとおり決定され、赤川副会長が地域活動交付金分科会長を兼務することが決定された。
- ・地域活動交付金分科会の委員構成については、令和5年度地域活動交付金の検討が始まる際に改めて決定することになった。
- ・地域計画の5つの柱の委員編成が以下のとおり決定された。

◎リーダー

令和4年度 東郷地域協議会				
(1)暮らそう	(2)守ろう	(3)育てよう	(4)学ぼう	(5)楽しもう
◎笹田 賢明	◎沢田 実付晴	◎渡邊 竜夫	◎長屋 靖子	◎前沢 美津男
林 亨	今泉 光弘	川合 守	原 順弘	加藤 邦彦
福田 吉夫	赤谷 政明	星 洋輔	望月 明彦	山本 昌彦
夏目 有希	中島 勝	今泉 真理子	原田 学	赤川 哲久
山本 見奈子	藤田 哲也	夏目 香	加藤 稜唯	佐々木 昌也
原田 久美子	瀧川 昌弘		戸田 由信	
市村 照代				
計 7 人	計 6 人	計 5 人	計 6 人	計 5 人

(3) 地域協議会年間開催スケジュールについて

(事務局説明)

- ・地域協議会及び分科会の活動内容と年間スケジュールについて

(主な意見)

委員 昨夜市のホームページを見たら、新しい市の計画が載っていた。一度事務局でそれを今の東郷地域計画と、もう一度照合をしていただけないか。5月号の広報ほのかに今年度の市の事業として、地域安全対策事業、防犯カメラ設備事業補助金とか、それから、防災資機材等整備事業、災害対策一般事務経費、などというような事業が掲載されていた。防犯カメラのことを聞いたら、今後も続くという話となっている。東郷の地域計画と一度整合をかける必要があるのではないかと思います。自分の家で全部印刷で出すと大変なので出さなかったが、事務局で市の新しい事業計画と東郷地域計画とで、ラップしていることがあれば、また変更をしなければいけないことがあるのか確認をしていただきたいと思う。その上でまた必要ならば、地域計画をどうするかが出てくるのではないかなと思うので、よろしく願いしたい。

事務局 今言われたのは協議会の年間スケジュールの話ではなく、地域計画と市の計画が外れてないかという話か。

委員 だから、変更があれば、会議が増えるという意味。

事務局 今議事として話し合うことは、地域協議会の年間スケジュールとしていいかどうかということ。今提案されたことは別問題であるので、その件は一旦事務局として調べさせていただきます。

会長 市は市で考えているし、いろんな課があつて検討されてると思う。我々は地域を代表して、地域の一番密着した会議をしている。ただ、それはそれで貴重な意見だと思うので、それをまた市に上げてもいいし、我々が何か実行団体を作ってやってもいいということ。整合性を取るというのはなかなか難しいところがある。また、会場の防災センターが昔みたいに使えない。平井公民館も月曜日定休日。東郷には他に拠点もないので、今は市役所が会場となっているが、その辺の不便さもある。私も防災センターを何とか使えるようにしてくれという交渉をしているが、なかなか消防署が相手なので難しい部分もある。場所的にも検討する余地があると思うが、スケジュールについては大体この辺でよろしいか。異議はないようならばこれで決定させていただきます。

結 果

・地域協議会

第2回 5月16日(月)19:00～

第3回 6月13日(月)19:00～

第4回 7月11日(月)19:00～

第5回 8月8日(月)19:00～

第6回 9月5日(月)19:00～

※10月17日(月)19:00～ →(予備日)事業計画変更検討の必要が生じた場合開催

第7回 10月31日(月)19:00～ 市長建議 ※全員参加。終了後地域意見交換会有り。

第8回 11月21日(月)19:00～

第9回 12月12日(月)19:00～

第10回 1月30日(月)19:00～

第11回 2月27日(月)19:00～

※令和5年3月中に東郷地域の活動団体同士をつなげる交流会を実施予定。

・地域活動交付金分科会

第1回 2月6日(月)19:00～

第2回 2月20日(月)19:00～

第3回 2月25日(土)午後～ (審査会、申請団体の数により終了時刻変動)

以上の日程に決定した。

(4) 今後の会議開催形式について

(事務局説明)

- ・オンライン会議実施要領

(主な意見)

- 委員 対面が嬉しいが、Zoom をしばらくやらないと忘れてしまう。奇数月と偶数月で分けてひと月ごとにオンラインと対面を使い分けていくというのはどうか。
- 委員 新規の委員もいるので、早々に1回オンラインで開催するのがいいかなと思っている。慣れない人はなかなか取っつきにくいし、意見を出すときは対面の方がいいけれども、決をとるだけなら Zoom で十分。まずはちょっと慣れていただきたいので Zoom でどうか。
- 委員 今言われたように、時々 Zoom にした方が、いざ Zoom になった時にやっぱり慣れている方が意見も言いやすいし、操作も忘れてしまうことがないので賛成。
- 委員 私も、両方があってもいいと思う。一方で対面で話す良さもあるし、また Zoom の良さもあると思う。あらゆる形で話し合うと、また意見の出力も変わるかもしれないし、今後新しい問題が出て、ちょっとした話し合いが必要となったときに、Zoom だと移動せずにできたりする良さもあるので、いろんな形を体験した方が、この地域協議会の発展を考えていくといいんじゃないかなと考える。
- 委員 奇数月と偶数月で分けて隔月でオンライン会議をしていくということだが、正直言えば対面の方が効率が良い。実際にやるのであれば対面の方がもちろん良いというのは皆さん実感している通りだと思うので、隔月だと少し頻度が多い。慣れるという機会は当然必要だと思うけれども、その辺のあんばいをもうちょっと検討すべき。
- 会長 Zoom で会議をやっているところはうちの自治区だけ。なぜそうなったかという私の独断と偏見でなったが、未来に繋がる一つの形式だと思う。今国際会議でも Zoom でやっている。それからいろんな市の会議や非常に重要な会議でも Zoom でやっているところが多い。皆さんも一つの財産・資産として活用していただきたいし、これからは必要になるときが必ず来るので、それは一つの体験として貴重なものだったと私は思っている。
- 委員 どっちみちコロナはこの先わからないので、半年間ぐらい経ってそこでもう1回考え直すこともあるかなとは思っている。1年間こうしようということを考えなくてもいいかなということは今みんなの話を聞いて思った。
- 委員 コロナで大変な状況ならば、会長が言われるようなことは当然だと思うが、コロナがひどくない時には私はこうやって皆さんの顔を見て会議をしたいと思う。Zoom だと平面的にしか皆さんの顔は見えないので、やはりこうやって皆さんにお会いすると立体的に見え、また表情もよくわかるので、私は対面の方がいい。
- 赤川副会長 私から一つ提案したいが、次回 5/16 の会議はオンライン会議の練習も兼ね Zoom で開催する。あと 6~9 月は建議のための大切な月になるので、感染状況がひどくならない限りは対面にする。その方が話が進むし、皆さんもいい意見が出て予算立てもできて、建議に間に合うと思う。もし間に合わないと、会議の日にちを何日か増やさなければならなくなるので、私としてはそういう提案をさせていただきたい。建議以降ならばオンラインは隔週でもいいと思うので、その時に考えたい。
- 会長 それでは、大きな方向性はそのようにして、コロナの感染状況に応じて、その都度会長副会長が開催について検討するので、我々に一任していただくことに賛成していただきたい。そうしないと、收拾がつかなくなる。

結 果

- ・次回 5/16 の第 2 回地域協議会は、オンライン会議で開催する。以降の 6～9 月は、コロナの感染状況がひどくならない限りは対面で開催する。
- ・会議の開催方式に関し、その時のコロナの感染状況を鑑み、開催方法や開催の判断について会長・副会長に一任することとなった。

4 連絡事項

- (1) 令和 4 年度地域自治区予算事業について
- (2) 令和 4 年度地域活動交付金について
- (3) 市長が行く！ふれあいトークについて

【21:00 終了】